

「FOLFIRINOX療法の副作用発現調査-UGT1A1遺伝子多型の観点から-」 へご協力をお願い

- 平成25年1月1日から平成27年12月31日まで岡山大学病院 消化器内科においてFOLFIRINOX療法を受けられた方へ -

研究機関名	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山大学病院		
研究機関の長	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	研究科長	谷本 光音
	岡山大学病院	病院長	槇野 博史
研究責任者	岡山大学病院 薬剤部	副薬剤部長	名和 秀起

1. 研究の概要（研究の目的及び意義）

膵臓癌の治療の中に、3種類の抗がん剤を使う FOLFIRINOX療法があります。この治療法で使用する薬剤の1つにイリノテカンがあります。この薬剤は、個人個人が持っている遺伝子によって薬の効果が異なります。効果が強く出してしまうと副作用も強くなってしまいうため、その場合は薬の量を少なくします。しかし、そのような方に対しての治療の情報は少ないため、治療の結果から投与量や副作用などを調査させていただき、今後同じ治療を受けられる患者さんに対してより良い治療を行うことができるようにすることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成25年1月1日から平成27年12月31日まで岡山大学病院 消化器内科においてFOLFIRINOX療法を受けられた方23人を対象とします。

2) 研究期間

平成28年3月11日 ~ 平成29年12月31日

3) 研究方法

対象となる研究対象者に対し、FOLFIRINOX療法を施行された症例について調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法

本研究に使用した情報は研究終了後5年間保存させていただきます。保存期間終了後は電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 情報の保護

本研究に使用する情報は岡山大学薬剤部内の鍵のかかる金庫内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年4月10日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 薬剤師 蔵田 靖子
電話：086-235-7646（平日：8時00分～17時00分）